

1.調査目的

1)背景

日本コーチ協会大阪チャプターが、設立されてから今年で6年目。

‘06年度は、広くコーチングを関西に広めるため、様々な業界におけるコーチングの活用事例の発表など「コーチングフェスタin Kansai」を開催、‘07年度は広く一般向けからプロまでを対象にしたイベント「コーチ會館」を開始、学生の方から企業の方まで幅広く一般の方々に参加いただいている。

さらに、会員に有益な活動を行ない盛り上げていきたいところであるが、昨年‘06年は65名、‘07年度は59名となり減少傾向にあり、例会や他イベントへの参加度も低くなっている。

年々、コーチングの重要性が唱われていることや、コーチング学習者も増え、認定資格所得者はある大手国内機関だけでも3,000名とされている。

そういった経緯を経て、一度、チャプターの存在そのものと活動を再確認し、今後の在り方及び、どうしていくことがよいのかを見つめ直す必要性があると判断した。

2)目 的

大阪チャプター及び会員の現状を把握し、会員及びコーチングに関わる人にとって、有益な存在となりチャプターを活性化させるための、具体的な行動計画を立て実行すること。

- 1.会員の属性から、ニーズなどを知ると共に、会員から見たチャプター評価及び、今後期待することを知る。
- 2.今後のミッションやビジョンを明確化する。
- 3.そのために、よりよくしていくための具体的な行動計画を立て実行する。